

【件名】	街路築造工事のうち擁壁築造工事その2（28ニ一補26豊町）	【事務所名】	第二建設事務所
【工事場所】	東京都品川区二葉一丁目地内から同区豊町二丁目地内まで	【受注者名】	真柄建設株式会社
【工期】	平成28年8月3日から平成30年3月23日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 古森 大樹

【工事概要】

本工事は補助第26号線と新幹線および在来営業線が交差するアンダーパス擦付け部において、U型擁壁および排水管を設置するものである。

【表彰理由】

工事箇所は住宅地と新幹線および在来営業線に囲まれた場所であり、多くの周辺関係者との調整が必要となる現場であった。

近隣住民に対し丁寧な周知を行うとともに、騒音防止対策や工事範囲外の清掃など、地元住民に配慮した活動を積極的に行うことで沿道住民と良好な関係を築いた。また、隣接箇所でも施工していたJR東日本の協定工事やJR東海と適宜調整を行いながら施工を行った。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

不明支障物の出現等に伴い、関係工事（JR工事、水道工事等）との協議調整が難航し、思うように工事着手できなかったこと。

◇ 特に工夫した点

沿道家屋が近接していることから、騒音防止対策として鋼矢板吊り込み時特有の金属音を軽減するため、パイルローラーを使用した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

通行止めを伴う地盤改良工事において、様々な問題に対し監督員と一体となって問題解決に取り組み、無事工事を完成できたこと。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設工事は近隣住民の協力なくしては成り立たないことをよく理解し、本当に地域のためとなるような社会貢献を工事と並行して考え、実行して欲しい。



パイルローラーを使用した騒音対策